

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

★最初のISS構成要素打上げから2664日経過しました

★第12次長期滞在クルーのISS滞在は156日経過しました

★ISS動向

ISSにドッキングしていたプログレス補給船(19P)は、3月3日午後7時6分に分離されました。不要品を詰め込んだ19Pは、大気圏に突入し太平洋上に投棄されました。

マッカーサー宇宙飛行士は、「デスティニー」(米国実験棟)にある、ISS内の空気を浄化する微量汚染物質制御装置を交換しました。過去数ヶ月間、この装置の性能は低下していましたが、現在は正常に作動しています。



19Pが分離した後のISS(イメージ)

先週修理を行った空気の組成を計測する装置(MCA)が起動しなかった原因は、電気コネクタのピンが損傷したか曲がったためと考えられており、配線を接続しなおして再度起動させる予定です。

また、マッカーサー宇宙飛行士は、5月以降にISSに到着予定のスペースシャトル・ディスカバリー号(STS-121)で地上に持ち帰る不要品をラックに詰めました。

なお、第13次長期滞在クルー搭乗のソユーズ宇宙船(12S)のために「ザーリヤ」(基本機能モジュール)のドッキングポートを空ける必要があり、マッカーサーとトカレフ両宇宙飛行士は、3月20日にソユーズTMA-7宇宙船(11S)に乗り込んで11Sをザーリヤの地球側ドッキングポートからズヴェズダ(ロシアのサービスモジュール)の後方にあるドッキングポートへ移動させる予定です。

“トピック”

★3月2日、宇宙機関長会議開催

NASAのケネディ宇宙センター(KSC)において、米国時間3月2日に、ISSの今後について話し合うため、米国(NASA)、ロシア(FSA)、日本(JAXA)、ヨーロッパ(ESA)、カナダ(CSA)の宇宙機関長による宇宙機関長会議(HEADS OF AGENCY MEETING: HOA)が開催され、共同声明が発表されました。この会合において、現在のISSの運用状況並びに各極フライト機器の開発活動の状況について報告を受けました。



HOAに参加した各宇宙機関長
右から立川理事長(JAXA)、グリフィン長官(NASA)、ドーダン長官(ESA)、ペルミノ夫長官(FSA)、ジャー長官代行(CSA)

また、ISSの完成形態および組立スケジュールの見直しを確認しました。「きぼう」日本実験棟の船内保管室と船内実験室、ロボットアームは2007年度、船外実験プラットフォームと船外パレットは2008年度にスペースシャトルで打ち上げられる見込みです。なお、宇宙ステーション補給機(HTV)は、2008年度にH-II Bロケットで打ち上げられる見込みです。

■国際宇宙ステーション計画に関する宇宙機関長会議共同声明(JAXAプレスリリース)
http://www.jaxa.jp/press/2006/03/20060303_hoa_j.html

★外部燃料タンク(ET-119)がケネディ宇宙センター(KSC)に到着

5月以降打上げ予定のSTS-121ミッション用の外部燃料タンク(ET-119)が米国時間3月1日にケネディ宇宙センター(KSC)に到着し、スペースシャトル組立棟(VAB)に搬入されました。



VABに搬入されたET-119

この燃料タンクは、打上げ時にスペースシャトルを破損する可能性のある破片が落下しないように改良されたものです。

“インフォメーション”

★「ZERO Gravity Art展」開催案内

3月11日(土)から26日(日)まで、筑波宇宙センターにて【Zero Gravity Art展】を開催します。



昨年の展示の様子

展示品は、筑波大学芸術系学生による無重量環境での使用を想定した湯船やインテリア、ファッショナ、音楽など芸術的観点から創造した作品を各種展示します。

見学ご希望の方は以下にお申し込みの上、ご来場ください。

■JAXA見学ツアー申込先:

Tel 029-868-2016(お申し込みの際に、芸術展覧会見学希望と申し添え下さい。)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

Wi-Fiクリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうWi-Fiクリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本Wi-Fiクリーニュースから転載した旨を記述ください。